

「医療機関および社会福祉施設の事業継続計画（BCP）ワークショップ」を開催しました（2018/10/25）

テーマ：熊本地震、病院、社会福祉施設、事業継続計画（BCP）

場所：地方経済総合研究所（熊本県熊本市中央区）

URL：<http://www.maruya-laboratory.jp/bcm-bcp-advice?>

2018年10月25日(木)9時から16時まで、東北大学災害科学国際研究所丸谷研究室と熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター藤見研究室の共同主催、公益財団法人地方経済総合研究所の協力により、「医療機関および社会福祉施設の事業継続計画（BCP）ワークショップ」を、熊本市の地方経済総合研究所2階会議室で開催しました。本ワークショップは、当研究所の他大学等との共同研究助成制度を活用したものです。また、参加者の募集について、熊本県庁のご協力を得ました。

当日は、熊本の病院や社会福祉施設の23団体から31名の方にご参加いただき、当研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）、熊本大学病院の前田ひとみ教授、当研究所の佐々木宏之助教（災害医学研究分野）、寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門）の4名が講師として、講演及びグループ討議を行いました。

開催にあたり、丸谷教授が挨拶・趣旨説明を行い、続いて、「事業継続計画（BCP）の基礎」の講義を行いました。次に、前田教授に「病院の防災・事業継続の備えの実態と課題」と題して講演をお願いしました。その後、5班に分かれて自組織の取組状況などについてグループで情報交換を行いました。昼食を挟み、午後は、佐々木助教が「東北大学病院におけるBCP策定と改訂」について講演し、続いて、丸谷教授が「無理なく事業継続を高める方策」の講義を行いました。その後、事業継続に必要なポイントについて、参加者の熊本地震での経験も踏まえてグループ討議を行い、活発なディスカッションが行われました。なお、昨年丸谷教授が研究室HPで公表を開始した「中小企業BCP導入ガイド」も教材として使用しました。

終了に当たり、本ワークショップの第2回目（来年2月8日開催予定）までの宿題として、各自組織におけるBCP簡易様式の作成に関して説明し、閉会しました。



講演（丸谷教授）

講演（佐々木助教）

会場の様子



グループ討議の様子 1

グループ討議の様子 2

文責：丸谷 浩明、寅屋敷 哲也（人間・社会対応研究部門）